

【会議・行事等】

月 日	行 事 名	場 所	備 考
4月1日 (火)	教職員辞令伝達式	役場会議室	
4月10日 (木)	4月校長・園長会	東栄中学校	
4月14日 (月)	4月定例教育委員会	B&G会議室	
4月25日 (金)	第1回東栄町学校運営協議会	東栄小学校	
4月30日 (水)	地域学校協働本部 第1回合同部会	東栄小学校	
5月2日 (金)	5月校長・園長会	東栄小学校	
5月19日 (月)	5月定例教育委員会	B&G会議室	
5月19日 (月)	スポーツ推進委員連絡協議会	B&G会議室	
5月22日 (木)	中学生海外派遣事業	カナダ	
5月27日 (火)			
5月28日 (水)	中部ブロックB&G地域海洋センター 連絡協議会総会	磐田市	
5月29日 (木)	町体育協会総会	役場会議室	事業報告・決算、事業計画・予算
6月5日 (木)	6月校長・園長会	東栄中学校	
6月23日 (月)	第1回CSのびのび企画	東栄小学校	
6月24日 (火)	6月定例教育委員会	B&G会議室	
6月25日 (水)	第1回通学路交通安全対策連絡会	東栄中学校会議室	事業計画
6月26日 (木)	第1回いじめ問題対策会議	ひだまりプラザ	
6月26日 (木)	第2回東栄町学校運営協議会	東栄小学校	
6月30日 (月)	学校訪問	東栄小学校	
6月30日 (月)	社会教育審議会	役場会議室	令和7年度事業報告
7月7日 (月)	7月校長・園長会	東栄小学校	
7月10日 (木)	愛知県社会教育委員連絡協議会 東三河支部総会・前期研修会	花祭会館	
7月13日 (日)	三遠ネオフェニックス バasketボール 教室	東栄小学校	
7月24日 (木)	7月定例教育委員会	B&G会議室	
8月5日 (火)	巡回ラジオ体操	東栄小学校	町政施行70周年事業
8月19日 (火)	8月定例教育委員会	B&G会議室	
8月27日 (水)	花祭保存会長情報交換会	役場会議室	
8月28日 (木)	愛知県総合要望	愛知県庁	
8月28日 (木)	第3回東栄町学校運営協議会	東栄小学校	

8月29日(金)	スポーツ推進委員連絡協議会	B&G会議室	
9月2日(火)	9月校長・園長会	東栄中学校	
9月18日(木)	9月定例教育委員会	B&G会議室	
10月1日(水)	総合教育会議	役場会議室	
10月2日(金)	10月校長・園長会	東栄小学校	
10月18日(土)	名古屋グランパスエイトサッカー教室	陸上競技場	
10月21日(火)	10月定例教育委員会	B&G会議室	
10月25日～11月4日	文化祭作品展示	B&G体育館	
10月25日(土)	文化講演会(講師:伊藤真波氏)	花祭会館	
10月26日(日)	町民芸能まつり	花祭会館	
10月30日(木)	第4回学校運営協議会	東栄小学校	
11月6日(木)	第2回CSのびのび企画	東栄小学校	
11月6日(木)	11月校長・園長会	東栄中学校	
11月17日(月)	11月定例教育委員会	B&G会議室	
12月1日(月)	12月校長・園長会	東栄小学校	
12月6日(土)	愛知県市町村対抗駅伝大会	愛・地球博記念公園	
12月16日(火)	第5回東栄町学校運営協議会	東栄小学校	
12月17日(水)	第1回海外研修説明会	GH研修室	
12月20日(土)	北設スポーツ教室 「中日ドラゴンズ野球教室」	東栄中学校	
12月22日(月)	12月定例教育委員会	B&G会議室	
1月8日(木)	1月校長・園長会	東栄中学校	
1月11日(日)	東栄町二十歳を祝う会	東栄中学校	対象者22名(21名出席)
1月13日(水)	第2回中学校海外派遣事業保護者説明会 (オンライン)	各家庭	
1月21日(水)	1月定例教育委員会	B&G会議室	
1月28日(水)	教育委員代表者会議	田原市	
1月30日(金)	いじめ問題対策会議	ひだまりプラザ	
2月2日(月)	2月校長・園長会	東栄小学校	
2月18日(火)	2月定例教育委員会	役場会議室	
2月18日(水)	総合教育会議	役場会議室	

【学校教育】

補助事業	小学校農業体験学習費補助金	実施中	21,000 円	野菜等の栽培
	小学校臨海学習費補助金	完了	163,000 円	7月実施済み
	小学校地域体験学習補助金	実施中	50,000 円	町内でのまち巡り等の体験
	中学生海外派遣事業	完了	15,927,427 円	5月実施済み(カナダ)
	中学校海外派遣事業補助金	完了	200,000 円	
	自転車通学生徒補助金	完了	60,000 円	自転車購入補助金
	中学校進路指導費補助金	実施中	162,000 円	進路指導資料、学校訪問等
	中学校体育活動費補助金	実施中	700,000 円	部活動に係る諸経費
備品整備・修繕	小学校・デジタル一眼カメラ(1台)	完了	154,000 円	
	小学校・充電式草刈り機(1台)	完了	88,000 円	
	小学校・大型扇風機(1台)	完了	26,620 円	
	小学校・テレビ(2台)	完了	143,000 円	
	小学校・3・4年生教室LED化	完了	466,400 円	
	小学校・新入生用天板	予定	123,200 円	
	中学校・洗濯機(1台)	完了	85,800 円	
	中学校・コルクボード(1台)コンテナ付整理棚(1台)	完了	119,350 円	
	中学校・校長室、技術室LED化	完了	227,700 円	
	中学校・特別支援教室LED化	完了	110,000 円	
	中学校・玄関土間タイル補修	完了	35,000 円	
	中学校・進路指導室エアコン設置	完了	1,067,000 円	
	中学校・体育館誘導灯取替	完了	77,000 円	
	中学校・バスケットゴール塗装	完了	121,000 円	
	中学校・玄関ホール照明器具取替	完了	121,000 円	
中学校・新入生用天板	予定	176,000 円		
工事	小学校・温水洗浄便座設置工事	完了	2,895,750 円	
	中学校・漏水修繕工事	予定	1,958,000 円	
事業	とうえい地域未来塾(とうえい学びのひろば)	実施中	①第1期 5月～7月 毎週月曜日 のべ64名参加	
			②第2期(夏休み期間) 8回開催 のべ32名参加	
			③第3期 10月 4回開催 のべ23名参加	
			④第4期 11月～2月 29回 のべ344参加	

## 【社会教育】

事業・行事等	日 程
文化祭関連	令和7年10月25日(土)～11月4日(火)午前中まで (作品展示会、東栄中学校合唱・文化講演会、芸能まつりなど)
愛知駅伝大会	令和7年12月6日(土)
二十歳を祝う会	令和8年1月11日(日)
生涯学習講座 社会体育事業	下記一覧表のとおり

令和7年度

### 【生涯学習講座】

	講座名 (教室名)	小学生	中学生	一般	開催日	会場	申込者数	1/31 現在	実施回数
1	東栄町テニスクラブ	○			5月9日(金)から5月20日(火)	東栄ドーム	7人	終了	4/4回
2	茶道に親しむ会	○	○	○	5月10日(土)から11月15日(土)	本郷荘	8人	終了	5/5回
3	子どもたちのフラワーアレンジメント教室	○	○		5月10日(土)、7月12日(土) 11月1日(土)	講師の自宅	23人	終了	3/3回
4	東栄プラスバンド	○	○	○	5月12日(月)から10月26日(日)	東栄小学校音楽室	25人	終了	18/18回
5	和楽器に親しむ会	○	○	○	5月13日(火)から10月9日(火)	のきやま学校講堂	7人	終了	5/5回
6	大人たちのフラワーアレンジメント教室			○	6月7日(土)、11月29日(土)	講師の自宅	3人	終了	2/2回
7	さわやかコーラス			○	6月12日(木)から10月26日(日)	東栄小学校音楽室	17人	終了	12/12回
8	カヌー教室	○			7月23日(水)	B&Gプール	12人	終了	1/1回
9	将棋教室	○	○		8月1日(金)から8月20日(水)	本郷荘	17人	終了	4/4回
10	ニュースポーツ教室「モルック」	○	○	○	10月9日(木)から11月20日(木)	東栄ドーム	18人	終了	7/7回
11	スプレーアート教室	○	○	○	9月23日(火・祝)	弓道場	35人	終了	1/1回

### 【社会体育事業】

1	三遠ネオフェニックスバスケットボール教室	○			7月13日(日)	東栄小学校体育館	19人	終了	1/1回
2	三遠ネオフェニックスサマースクール	○			8月3日(日)	東栄中学校体育館	6人	終了	1/1回
3	名古屋グランパスエイトサッカー教室	○	○		10月18日(土)	総合グラウンド	27人	終了	1/1回
4	北設スポーツ教室 中日ドラゴンズ野球教室	○	○		12月20日(土)	東栄中学校グラウンド	64人	終了	1/1回

【施設】

区分	事業名	進捗	事業費	備考
工 事	弓道場 シャッター 上廻り取替工事	完了	792,000 円	10人立ちの上部分
	森林体験交流センター バンガロートイレ改修工事	完了	4,499,000 円	9棟分 洋式トイレ
備品購入	教育委員会 脚折りたたみ長机購入	完了	561,000 円	長机30台
	グリーンハウス 厨房冷凍ストッカー購入	完了	280,500 円	
	B&G体育館 移動式エアコン購入	完了	1,023,500 円	
	森林体験交流センター バンガロー座卓購入	完了	225,000 円	木製座卓10卓
	森林体験交流センター 事務用パソコン購入	完了	139,500 円	
修 繕	花祭会館 クロス張替え修繕	完了	158,400 円	男女トイレ周辺、2階展示室
	森林体験交流センター 天井照明LED化修繕	完了	433,070 円	事務所、ロビー、食堂

令和7年度 総合社会教育文化施設利用状況 (使用料・手数料・雑入)

(円)

月	使用料										手数料				雑入		計		
	B&G 体育館	B&G 研修室	B&G プール	野球場	グラウンド	ドーム	テニスコート	弓道場	花祭 会館	民芸館 博物館	GH 宿泊	GH 部屋	GH 研修室	GH 体育室	花祭 入館料	民博 入館料		GH 雑入	花祭 雑入
4	35,330	0	0	8,560	5,350	7,490	0	1,770	0	860	159,180	0	20,565	7,220	15,040	3,630	5,240	1,000	271,235
5	45,590	0	0	4,280	2,140	23,540	0	3,880	6,630	0	191,365	0	14,460	7,220	15,680	5,610	1,000	600	321,995
6	33,610	0	0	4,280	3,210	9,630	0	4,910	3,320	0	245,050	2,360	31,115	12,780	15,040	1,980	0	0	367,285
7	14,420	0	6,490	6,420	12,840	14,980	0	21,470	53,250	0	658,140	0	25,685	30,540	9,280	21,780	5,200	0	880,495
8	53,010	0	65,160	23,540	13,910	47,080	14,940	38,600	0	0	1,458,660	0	20,620	16,100	52,800	13,860	9,450	5,000	1,832,730
9	33,680	0	0	20,330	3,210	59,900	0	24,760	0	0	223,440	5,900	30,075	0	21,440	7,250	1,000	10,500	441,485
10	13,700	0	0	0	4,280	17,050	0	1,660	27,710	2,570	112,980	2,360	19,920	7,220	13,440	6,270	1,000	500	230,660
11	108,510	0	0	25,680	8,560	42,245	36,520	6,900	6,640	0	91,140	0	19,975	0	50,880	8,910	1,000	9,000	415,960
12	15,150	0	0	0	2,140	3,210	0	2,100	28,180	0	71,400	0	18,905	1,660	20,250	1,980	18,998	3,000	186,973
計	353,000	0	71,650	93,090	55,640	225,125	51,460	106,050	125,730	3,430	3,211,355	10,620	201,320	82,740	213,850	71,270	42,888	29,600	4,948,818

前年度との比較(4~12月)

(円)

月	使用料										手数料				雑入		計		
	B&G 体育館	B&G 研修室	B&G プール	野球場	グラウンド	ドーム	テニスコート	弓道場	花祭 会館	民芸館 博物館	GH 宿泊	GH 部屋	GH 研修室	GH 体育室	花祭 入館料	民博 入館料		GH 雑入	花祭 雑入
4	9,140	0	0	1,130	2,140	3,210	0	△ 1,000	0	△ 4,780	△ 44,730	0	10,550	7,220	10,880	0	5,080	△ 10,000	△ 11,160
5	23,750	0	0	△ 10,530	1,070	7,490	△ 6,640	1,000	0	0	9,010	0	△ 4,390	2,690	△ 14,760	330	0	200	9,220
6	△ 1,210	0	0	2,140	3,210	△ 7,490	0	△ 630	△ 3,320	0	51,585	1,180	16,600	3,900	1,600	△ 2,640	△ 1,000	0	63,925
7	△ 14,980	0	6,490	0	△ 1,070	△ 10,700	0	2,910	4,995	0	△ 335,580	0	620	4,440	△ 4,160	14,190	5,200	△ 7,900	△ 335,545
8	△ 26,960	0	35,560	△ 13,750	8,560	△ 1,070	1,660	△ 6,600	△ 9,945	0	△ 146,235	0	2,785	△ 2,780	34,610	5,940	7,600	2,500	△ 108,125
9	2,770	0	0	0	△ 5,350	4,280	0	5,200	0	0	79,380	3,540	15,615	0	△ 960	2,300	△ 1,000	10,000	115,775
10	△ 5,210	0	0	△ 2,140	△ 7,490	△ 21,995	△ 13,280	△ 7,160	6,640	0	45,360	△ 2,360	△ 6,640	7,220	960	2,970	0	△ 6,200	△ 9,325
11	12,420	0	△ 2,200	25,680	0	525	36,520	60	6,640	△ 860	△ 89,040	△ 5,900	2,250	△ 5,560	△ 4,180	5,280	1,000	3,900	△ 13,465
12	△ 8,110	0	0	0	△ 4,280	△ 12,840	0	440	4,970	0	△ 4,620	0	△ 1,070	△ 1,660	8,730	330	18,998	3,000	3,888
計	△ 8,390	0	39,850	2,530	△ 3,210	△ 38,590	18,260	△ 5,780	9,980	△ 5,640	△ 434,870	△ 3,540	36,320	15,470	32,720	28,700	35,878	△ 4,500	△ 284,812

令和7年度 総合社会教育文化施設利用状況（利用者数）

(人)

月	利用者														入館者		計
	B&G 体育館	B&G 研修室	B&G プール	野球場	グラウンド	ドーム	テニスコート	弓道場	花祭 会館	民芸館 博物館	GH 宿泊	GH 部屋	GH 研修室	GH 体育室	花祭 会館	民芸館 博物館	
4	145	0	0	227	135	306	21	17	0	15	111	0	120	65	63	27	1,252
5	262	0	0	178	91	667	0	36	50	0	211	0	232	104	82	50	1,963
6	324	0	0	217	234	451	35	101	17	0	93	8	244	104	47	6	1,881
7	145	0	624	146	412	293	64	315	235	0	525	0	363	286	29	65	3,502
8	330	0	806	347	234	336	73	359	0	0	930	0	366	226	165	42	4,214
9	194	0	0	139	128	1,072	61	236	0	15	152	12	96	0	80	35	2,220
10	983	0	0	123	36	414	33	16	584	160	80	10	87	90	45	41	2,702
11	586	0	0	117	2,257	2,292	48	53	0	0	62	0	135	0	170	58	5,778
12	117	0	0	0	36	230	0	22	305	0	51	0	153	17	63	7	1,001
計	3,086	0	1,430	1,494	3,563	6,061	335	1,155	1,191	190	2,215	30	1,796	892	744	331	24,513

前年度との比較(4～12月)

(人)

月	利用者														入館者		計
	B&G 体育館	B&G 研修室	B&G プール	野球場	グラウンド	ドーム	テニスコート	弓道場	花祭 会館	民芸館 博物館	GH 宿泊	GH 部屋	GH 研修室	GH 体育室	花祭 会館	民芸館 博物館	
4	△ 17	0	0	148	△ 20	△ 2	21	△ 10	0	△ 35	△ 31	0	△ 81	65	39	5	82
5	122	0	0	65	△ 71	289	△ 49	14	20	0	82	0	△ 34	34	△ 30	16	458
6	56	0	0	95	86	△ 56	35	△ 18	13	0	△ 39	△ 2	8	18	△ 4	△ 17	175
7	△ 15	0	△ 43	△ 99	62	△ 291	10	126	7	0	△ 182	0	165	69	△ 24	31	△ 184
8	△ 652	0	197	△ 71	△ 71	△ 434	36	△ 152	△ 60	0	△ 198	0	13	△ 19	79	△ 16	△ 1,348
9	68	0	0	10	△ 1,403	△ 773	48	104	0	2	54	△ 4	△ 99	0	△ 10	0	△ 2,003
10	140	0	0	△ 39	△ 232	△ 480	△ 102	△ 51	424	3	33	△ 42	2	90	0	15	△ 239
11	△ 187	0	0	59	22	△ 68	48	△ 16	0	△ 10	△ 93	△ 49	△ 31	△ 22	△ 6	41	△ 312
12	△ 13	0	0	△ 65	△ 55	△ 83	0	6	42	0	△ 6	△ 14	89	△ 44	22	△ 1	△ 122
計	△ 498	0	154	103	△ 1,682	△ 1,898	47	3	446	△ 40	△ 380	△ 111	32	191	66	74	△ 3,493

令和7年度 森林体験交流センター利用状況（利用者数 使用料・手数料・雑入）

(人)

月	実人員				延べ宿泊数			延べ利用者数	プラネタリウム	観望会
	大人	小人	幼児	計	大人	小人	計			
4	31	2	0	33	20	2	22	55	26	12
5	130	17	4	151	161	16	177	328	77	11
6	54	0	0	54	29	0	29	83	48	0
7	291	20	9	320	330	20	350	670	299	90
8	202	38	19	259	241	41	282	541	206	91
9	64	2	0	66	62	1	63	129	66	23
10	77	12	0	89	17	0	17	106	66	3
11	42	9	8	59	41	8	49	108	41	24
12	58	6	3	67	52	6	58	125	58	17
計	949	106	43	1,098	953	94	1,047	2,145	887	271

(円)

使用料・手数料・雑入				計
センター	バンガロー	天文関係	BBQ関係	
32,100	51,280	17,240	0	100,620
147,660	410,240	30,100	2,000	590,000
25,680	64,100	13,440	1,500	104,720
307,090	717,920	104,320	200	1,129,530
141,240	717,920	89,000	6,200	954,360
6,420	217,940	23,970	3,500	251,830
23,170	39,460	11,715	0	74,345
58,510	118,580	29,910	3,000	210,000
47,510	132,500	26,580	4,600	211,190
789,380	2,469,940	346,275	21,000	3,626,595

前年度との比較(4~12月)

(人)

月	実人員				延べ宿泊数			延べ利用者数	プラネタリウム	観望会
	大人	小人	幼児	計	大人	小人	計			
4	14	△ 2	△ 1	11	9	△ 2	7	18	9	8
5	△ 5	△ 27	△ 1	△ 33	△ 15	△ 28	△ 43	△ 76	△ 24	△ 85
6	34	△ 8	△ 2	24	22	△ 6	16	40	26	△ 4
7	74	8	1	83	137	8	145	228	84	△ 77
8	△ 63	△ 3	0	△ 66	△ 127	4	△ 123	△ 189	△ 76	△ 28
9	△ 11	△ 8	△ 15	△ 34	8	△ 9	△ 1	△ 35	△ 5	4
10	20	△ 20	△ 9	△ 9	△ 9	△ 7	△ 16	△ 25	6	△ 13
11	△ 6	2	7	3	5	3	8	11	△ 5	11
12	△ 42	△ 31	1	△ 72	△ 58	△ 62	△ 120	△ 192	△ 70	△ 106
計	15	△ 89	△ 19	△ 93	△ 28	△ 99	△ 127	△ 220	△ 55	△ 290

(円)

使用料・手数料・雑入				計
センター	バンガロー	天文関係	BBQ関係	
16,050	12,820	10,100	△ 500	38,470
△ 17,120	38,460	△ 18,930	0	2,410
25,680	12,820	4,860	△ 800	42,560
120,910	294,860	△ 1,630	△ 1,300	412,840
△ 180,830	△ 179,480	△ 31,180	△ 4,900	△ 396,390
△ 49,220	25,640	△ 8,610	500	△ 31,690
△ 26,580	△ 26,340	△ 8,345	△ 500	△ 61,765
△ 11,100	△ 12,520	8,620	1,500	△ 13,500
△ 30,860	△ 280,320	△ 39,600	1,000	△ 349,780
△ 153,070	△ 114,060	△ 84,715	△ 5,000	△ 356,845

## 令和7年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価

(令和8年2月18日現在 中間報告)

東栄町第6次総合計画 後期計画（令和3年度～令和7年度）

基本目標 豊かな文化と心を育むまちづくり

### ○基本施策1 学校教育

- 1-1 一人ひとりに応じたきめ細かな教育の推進
- 1-2 知・徳・体が調和した教育の推進
- 1-3 連携教育の推進
- 1-4 食育活動の推進
- 1-5 小中学校の施設・設備の充実
- 1-6 高校への就学支援

### ○基本施策2 家庭・地域による連携教育

- 2-1 家庭教育への支援
- 2-2 子どもの居場所づくり

### ○基本施策3 生涯学習・生涯スポーツ

- 3-1 生涯学習の充実
- 3-2 スポーツ活動の充実
- 3-3 総合社会教育文化施設の充実と利用促進

### ○基本施策4 文化の保存と継承

- 4-1 伝統文化の継承
- 4-2 文化財の保存・継承環境づくり

### ○基本施策5 多様な学びの場

- 5-1 人権尊重の推進
- 5-2 国際交流を通じた多様性への理解

個別施策	令和7年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
<p>1-1 一人ひとりに応じたきめ細かな教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の校内現職研修を中心に、教員の指導力の向上を図った。また、教職員が日常的に児童生徒の情報を共有する場を設定し、実態把握に努めた。</li> <li>・年2回、いじめ問題対策協議会を開催した。</li> <li>・令和6年度より、学校勤務経験のある会計年度任用職員を配置し、教員業務支援、不登校対応を行った。</li> <li>・児童生徒の状況に応じて教員やスクールカウンセラーによる相談や家庭訪問を行い、不登校やいじめ等の早期対応や防止を図った。</li> <li>・特別に支援が必要な児童生徒に対しては特に細かく配慮して、教職員・保護者の共通理解を基盤にした丁寧な指導を行った。</li> <li>・小学校に通級学級を設置し、中学校でも引き続き通級指導を行うことで個に応じた学習を支援した。</li> <li>・小中学校に支援員を配置し、個の特性に応じて学校生活と学習を支援した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究を中心とする校内研修を行い、実態把握の力や指導力を高めた。いじめや不登校などの問題の早期発見と解消、個に応じた対応に成果があった。</li> <li>・教育委員会だけでなく対策協議会組織の参加者同士で小中学校におけるいじめの状況把握に努めた。</li> <li>・夏休み期間などを含め、不登校児童の対応ができ、教員の業務負担軽減につながった。</li> <li>・今年度は、中学校と協力しTルームを新設し、不登校生徒などの居場所づくりに努めた。</li> <li>・児童生徒と個別に接することで状況を把握し、職員全員で指導の方向性を明確に共有して対応できた。不登校の解決、いじめの早期発見と正確な把握が課題である。</li> <li>・学校生活に適応でき、力を伸ばすことができた。義務教育終了後を見通して方針を立てて指導することが今後必要である。</li> <li>・個の実態に応じた指導を行うことで、学習への興味を維持し、理解を深めることができた。</li> <li>・特別に支援が必要な児童生徒に個々に対応することで、生徒の活動への集中を持続したり学習の理解を深めたりすることができた。</li> </ul>
<p>1-2 知・徳・体が調和した教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標に示し、小中学校の教育活動全体を通して計画的に取り組んだ。</li> <li>・中学校3年生22名と職員4名がカナダで研修を行った。 また、10月25日の明神祭では、その活動報告・発表を行った。</li> <li>・総合的な学習の時間を工夫し、中学校では「共生タイム」で町に関わる追究学習に、小学校ではふるさと学習で地域についての学習に取り組んだ。</li> <li>・ALTを配置し小中学校の英語教育の質の向上を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を具体化し適切に指導した。全人的に子どもをとらえる視点を今後も重視したい。</li> <li>・国際理解教育の一環として、言語や文化の違いを体験し、現地の人々や交流校との交歓を通して相互理解を図りコミュニケーション能力を高めることができた。</li> <li>・異なった文化や風習に接することで、日本(東栄)の文化や風習、歴史について再確認することができた。</li> <li>・地域の多くの団体や個人の協力が得られ、町について知ったり体験したりする活動が多様化し、内容もいっそう充実できた。中学生は明神祭で学習の成果を発表した。</li> <li>・話す力・聞く力が意識され、ネイティブの発音に触れてコミュニケーションへの意識が高まっている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症や熱中症に配慮しながら体育活動に取り組んだ。部活動は働き方改革により休業日を設けて実施した。</li> <li>・小中ともに一人1台のタブレットを授業等で活用した。中学校では持ち帰りも行っており、家庭学習や不登校の生徒等の活用にも役立っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策や熱中症対策による体力への影響は小学校中学校とも認められなかった。中学生は県平均より高かった。体力の個人差が大きい。</li> <li>・家庭での扱い（故障等）については引き続き配慮が必要。不登校の生徒については、タブレットを用いて学校との連絡を行っており、本人とのつながりにおいて大切なツールとなっている。</li> </ul>
<b>1-3 連携教育の推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度よりコミュニティ・スクールを設置し、理念である「笑顔と誇り子どもの育つ力を信じて～」に向かって活動を行った。</li> <li>・保育園の年長児が、段階的に小学校を訪問・体験する場を設定した。</li> <li>・北設楽中高一貫教育に取り組み、林業科体験授業・数学・英語の交流授業、部活動の交流、田口高校文化祭参加、文化祭作品展等を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会を年6回、地域学校協働本部会議を1回開催した。とうえいCSだよりや東栄チャンネルの掲載等で町民にも周知しているが、より一層の連携の強化と情報共有が必要である。</li> <li>・R7より地域おこし協力隊1名を「地域コーディネーター」として配置。</li> <li>・小学校での生活の具体的なイメージを描くことができ、園児の意欲の向上につながった。</li> <li>・高校生の学校生活や各種の取り組みを知り、進路選択の参考にできた。</li> </ul>
<b>1-4 食育活動の推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回の「愛知を食べる学校給食の日」をはじめ、給食の歴史をたどるメニューを給食週間に出す、季節を感じる献立を出す、地域の食材を活用するなど特色ある給食を工夫して提供した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養職員と生徒のコミュニケーションも多く、食に対する関心が高まり、残食もない。個に応じた量を考えたい。</li> </ul>
<b>1-5 小中学校の施設・設備の充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中ともに一人1台のタブレットを授業等で活用した。中学校では持ち帰りも行っており、家庭学習や不登校の生徒等の活用にも役立っている。【再掲】</li> <li>・東栄小学校のトイレ17基にウォシュレットを設置した。</li> <li>・令和6年度リニューアルした中学校の制服を、新中学1年生に配布した。</li> <li>・中学校入学者への夏用ポロシャツを例年通り配付した。</li> <li>・令和6年度より会計年度任用職員に、教員業務支援として学校周辺の整備を依頼している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の授業だけでなく、東三河全体での共有事項等幅広くタブレットの活用機会が増えている。今後もタブレット活用の機会は増えることが見込まれるため、GIGAスクール構想の実現に向けて取り組んでいく必要がある。</li> <li>・ウォシュレットがついていないため、児童が大便を我慢してしまう児童がいるという保護者の声にこたえた。</li> <li>・多様性の時代に合わせて、ブレザーの制服とし、令和7年度の生徒分から町で補助することとした。</li> <li>・高温化が進み熱中症が危惧される中、安全かつ快適に学校生活を送る一助となった。</li> <li>・これまで教員が行っていた環境整備業務が軽減され、教員の業務支援・働き方改革に大いにつながっている。</li> </ul>

<p><b>1-6 高校への 就学支援</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校への就学を支援するために、通学費用や私立高校授業料の一部補助を継続して行った。</li> <li>・高校生の通学の利便性を高めるよう配慮して、町営バスを運営した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学の交通費や下宿代、授業料等就学に必要な費用の一部を補助することによって、家庭の負担を軽減するとともに、進路選択の幅を広げることができた。</li> <li>・通学に不便を来さないバス運営ができた。</li> </ul>
-------------------------------------	--	---

個別施策	令和7年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
<p>2-1 家庭教育への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校とも家庭との連絡を日常的に行い、必要な情報を交換した。</li> <li>・保護者会、学校保健委員会等の場で、発達段階や実情に応じた家庭教育の方向性を示した。また、必要に応じて個別に懇談し、考えを共有した。</li> <li>・スクールカウンセラーを継続配置し、保護者の相談に対応できるようにした。</li> <li>・不登校や配慮が必要な家庭に対して、学校だけでなく行政（教育委員会・福祉課・児童相談所等）でも情報共有し、対応検討を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール、学校ブログ、とうえいチャンネルの活用など、方法を工夫して情報提供ができた。</li> <li>・現状の課題について情報発信ができた。また、個々の課題に対して共に考え、解決の方法を支援できた。どの保護者とも信頼関係をいっそう深めたい。</li> <li>・専門家を配置し必要に応じて相談を受けることができた。より活用しやすくしたい。</li> <li>・課題や案件に応じて相談相手が変わるため、個人情報や役割分担に留意しながら進めていく必要がある。</li> </ul>
<p>2-2 子どもの居場所づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度よりコミュニティ・スクールを設置し、理念である「笑顔と誇り子どもの育つ力を信じて～」に向かって活動を行った。（再掲）</li> <li>・地域見守り隊活動を依頼し、登下校の安全を図った。</li> <li>・小学4年生の福祉の勉強の一環としておいでん家を訪問し、お年寄りと交流を図った。また、お年寄りを学校に招待し、高齢者と一緒に遊べるゲームや合唱など交流を楽しんだ。</li> <li>・放課後児童クラブにおいては、保護者の状況等で利用条件はあるものの、利用する児童は増加傾向にある。</li> <li>・生涯学習講座にワークショップの場を設けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後活動「のびのび企画」を小学校3回、中学校1回、地域の方を講師に実施。とうえいCSだよりや東栄チャンネルの掲載等で町民にも周知しているが、より一層の連携の強化と情報共有が必要である。</li> <li>・安全を保障するとともに、地域の方と触れ合う機会となった。</li> <li>・地域のお年寄りと触れ合うことで、思いやりやコミュニケーション力の醸成につながった。また、家族の垣根を越えて触れ合うことで普段は知ることのできない地域の人や暮らしを知る機会となった。</li> <li>・特に夏休み期間の利用者が多く、支援員の確保が大きな課題となっている。</li> <li>・関心のある活動を経験することができ、多様な活動に触れる場が増えた。</li> </ul>

個別施策	令和7年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
<p><b>3-1</b> 生涯学習の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11の生涯学習講座を開設して、延べ62回を運営した。1回だけの講座は2講座実施した。</li> <li>・令和7年12月現在、生涯学習講座の講師として延べ35名のボランティア指導者が活躍している。</li> <li>・作品展示会や芸能まつりを開催し、文化活動の発表の場を設けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の積極的な指導に充実した生涯学習講座が実施できた。1回終了の講座にも関心がある受講生が多かったため、数回できる対応が必要である。</li> <li>・指導者の高齢化への対応と新規生涯学習開設として、新たな人材発掘が引き続き必要である。</li> <li>・作品展示会に28団体の出展、芸能まつりに9団体の出演があった。今後も楽しみであるという声は多いが、出展や出演団体が減少傾向にあるため、町民に対する情報提供が必要である。</li> </ul>
<p><b>3-2</b> スポーツ活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B&amp;G事業として、水辺の安全教室、カヌー教室、ごみ清掃、リーダー研修、キッズ・マリンスフェスティバルを行った。</li> <li>・希望に応じて、できるだけ多様な生涯スポーツ講座を開設するとともに、団体の活動を支援した。</li> <li>・社会体育事業として、名古屋グランパスサッカー教室、ドラゴンズ選手による野球教室、三遠ネオフェニックス選手によるバスケット教室を開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B&amp;G事業として活動を継続的に推進し、水辺に親しみ安全に対する意識向上やB&amp;G指導者会と連携協力し、組織の充実を図ることができた。</li> <li>・各種スポーツ愛好者に活動の場を提供できた。高齢化や参加者減への対応が課題である。</li> <li>・子どもたちの技能や意欲を高めることができた。今後も多様な種目を経験できるような工夫をしたい。</li> </ul>
<p><b>3-3</b> 総合社会教育文化施設の充実と利用促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B&amp;G体育館、東栄ドーム、弓道場は例年並みに利用できた。</li> <li>・総合文化施設の管理運営については、シルバー人材センターを指定管理者として適正に管理を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の主は固定利用客のため、今後は野球場やテニスコートの利用方法等の対応が課題である。</li> <li>・計画的な運営と施設整備を行った。施設の老朽化もあり、引き続き施設の充実を図っていきたい。</li> </ul>

個別施策	令和7年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
4-1 伝統文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来への継承の方策等を共有するため、花祭保存会長情報交換会を開催した。</li> <li>・県の補助金を有効活用し2つの無形民俗文化財に対する補助事業を実施した。小林花祭保存会は「衣装の新調」月花祭保存会は「花祭保存庫の屋根修繕工事」を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花祭の実施内容等について各保存会長より、それぞれの意見を出してもらうことで情報共有ができた。</li> <li>・2花祭保存会で「衣装の新調、屋根修繕工事」等を実施したことで、花祭が継続して開催できる環境を整える保存や継承を図ることができた。</li> </ul>
4-2 文化財の保存・継承環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国県指定の無形民俗文化財と、県町指定無形民俗文化財の保存団体に補助金を交付した。</li> <li>・町指定文化財所有者更新事業として、引き続き所有者が変更されていない文化財について所在の確認調査を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花祭開催と保存のために必要な経費や道具等の整備に使われている。10地区が様々な工夫をし、次代の子どもたちへの継承が途切れないように開催することができた。</li> <li>・代替わりで関係者と連絡先が取れないことや、所在の確認も進んでいない状況で今後も文化財審議会委員の協力のもと行っていく。</li> </ul>

個別施策	令和7年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
5-1 人権尊重の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校とも人権学習を実施した。日常的に児童生徒観察と教職員間の情報共有を行い、いじめを見つけて対応するとともに、人権週間の重点的指導など各種の学習を年間指導計画に位置付けて、人権意識の高揚に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめにつながる児童生徒の行動の早期発見と指導ができており、他者への思いやり、差別を許さない意識、命を大切にすることを育てることができた。それぞれの子どもたちの状況を把握し、組織的に個に応じた対応ができた。</li> </ul>
5-2 国際交流を通じた多様性への理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生海外派遣事業を計画し、令和7年5月22日から27日までの6日間、東栄中学校3年生22名と教員4名が、カナダで研修を行うことができた。</li> <li>・RCA校との交流やホームステイ、カナダの観光など有意義な研修となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解教育の一環として、言語や文化の違いを体験し、現地の人々や交流校との交歓を通して相互理解を図りコミュニケーション能力を高めることができた。</li> <li>・異なった文化や風習に接することで、日本(東栄)の文化や風習、歴史について再確認をし、将来の地域を担う人材の育成を行うことができた。</li> <li>・英語力の向上につながった。</li> </ul>

## 令和 8 年度東栄町教育方針

## はじめに

この東栄町教育方針は、第 6 次総合計画に示した基本構想の実現をめざして、令和 8 年度の教育の方向性や重点を示すものです。

以下、5 つの基本施策に沿って、教育を進めます。

## 1 学校教育

学習指導要領は、「社会に開かれた教育課程」及び「主体的・対話的で深い学び」をキーワードに、子ども達が未来社会を切り拓くための資質・能力を育成する、知識の理解の質を高める、確かな学力を育成する、豊かな心や健やかな体を育成することをめざしています。

重点事項は、子どもの状態や社会の要請を反映し、言語能力の確実な育成、理数教育の充実、伝統や文化に関する教育の充実、道徳教育の充実、体験活動の充実、外国語教育の充実、情報活用能力の充実、個に応じた発達の支援などです。

一方、東栄町では、平成 19 年 8 月に校長会から報告された「東栄町がめざす学校教育」を基に、学校教育活動を進めています。そこには「基礎的・基本的な力を確実に身に付け自ら考え学びとること」、「命を大切にし、心身のたくましさ和社会性を身につけること」、「郷土の自然・文化・歴史に学び、ふるさと東栄を愛すること」の 3 点が示され、伝統的な天地人教育の目標も反映されたものです。また、小学校と中学校の連続性に着目することの必要性も述べられています。

そして、実施計画第 3 期の第 6 次東栄町総合計画では、学校教育について、「一人ひとりに応じたきめ細かな教育の推進」、「知・徳・体が調和した教育の推進」、「連携教育の推進」、「食育活動の推進」、「小中学校の施設・設備の充実」、「高校への就学支援」の 6 点を掲げ、これに沿って取り組みを進めています。

各学年 20 人前後の学級は、一人ひとりの児童生徒に先生が目が届き、対応もしやすい規模です。この長所を生かして、一人ひとりの課題を明らかにする教科指導や、子どもの置かれている状況を丁寧に捉え、個に応じて育てる生徒指導を推進します。また、特別支援教育では、支援員の配置によって学校生活を充実させるとともに、保育園や外部の機関との連携

を密にして、子どもの成長に最適な教育の実現を図ります。

知・徳・体の調和の取れた育成は教育の不易であり、今年も変わることなく推進していきます。主体的に学ぶ態度、自分と人を大切にする心、健康と体力の向上を、学校生活全体を通して育てます。さらにここ数年、小学校・中学校とも地域を学ぶ、地域の方に学ぶ機会を増やし、定着してきました。ふるさとに目を向ける体験活動を「とうえいコミュニティースクール」と連携しながら、一層の充実を図り、全人的な成長をめざします。

令和2年度末に整備していただいた一人一台タブレットは、教科や総合的な学習の授業をはじめ学校生活のいろいろな場面で活用し、定着をしてきました。家庭学習や各種連絡などの活用も進み、今後、さらに効果的な利用ができるように努めるとともに、メディアリテラシーも含めて、情報及び情報機器に的確に対応できる児童生徒を育てていきます。

保育園と小学校と中学校の教育の連携については、少人数、保小中それぞれ1校園の利点を生かし、中学校卒業時の子どもたち一人ひとりの姿を見据えて、発達段階に応じた教育の在り方を探りながら、保小中一貫教育を進めていきたいと考えています。「将来子ども達がそれぞれ選択した社会で、自分の生活を創る力を育てる」ということを第一に考え、どの子どもにとっても本当に必要な体力、ものの見方・考え方、知識・技能は何かを精選し、東栄町の義務教育で育てる力について検討を続けていきます。

また、学校運営協議会と地域学校協働本部を組織して、保育園や学校、保護者だけでなく、地域の皆さんも子どもたちに関わっていただく「とうえいこコミュニティースクール」は、令和6年度からの積み上げで、活動の充実とそれに伴う課題も明らかになってきました。学校教育の場が少しずつ地域に広がっている手ごたえを感じることができます。令和8年度は、この動きがさらに住民の理解を得、地域と学校がさらに近づいていくようにコーディネーターと地域おこし協力隊を中心に事業を進めます。

食育の推進は、地元産食材の利用、給食の歴史をたどるメニューや季節を感じさせる献立の提供、食事についての対話など、さまざまな工夫を凝らして取り組んでいます。食は命の源、生活の基本であり、子ども達の意識が高まるよう継続して働きかけてまいります。

給食費の無償化については、国・県の動向に合わせながら対応をしていきます。保護者の負担軽減も考えながら、本来あるべき食の形、食に対する感謝の気持ちの醸成等、学校教育における学校給食という視点を大切にして進めていきます。

施設・設備の充実について、令和7年度は、児童・保護者の要望に応え、小学校トイレの温水洗浄便座化を実施し、児童が快適に学校生活を送れるようにしました。また、校舎の照明のLED化は、従前のおり、小・中学校ともに継続的に進めています。

令和8年度は、小中学校体育館のエアコン設置を当初予算に盛り込みました。災害発生時の避難所等への利用も含めて、児童生徒が猛暑の中でも快適に学習活動が進められるよう整備をしていきます。さらに、一人一台のタブレットについては、更新計画を作成し、順調に更新できるよう準備を進めます。また、中学校の新制服・夏服オニポロへの支援、高校への就学に関わる支援についても継続していきます。

## 2 家庭・地域における連携教育

地域の方の小中学校の授業等への参加とともに、小中学生の地域活動への参加を働きかけ、特に中学生の自治活動への参加意識を高めていきます。その基盤として、小中学生が地域の方と活動する場面を増やすように、継続的に努めます。「とうえいコミュニティースクール」の果たす役割が大きくなります。学校運営協議会、地域学校協働本部が中心となり、地域の声を学校経営にいっそう反映させるとともに、子どもを取り巻く様々な課題解決に努めます。さらに、B & Gの活動として、施設を有効活用し、子どもが様々な体験ができる場をつくりたいと考えています。

## 3 生涯学習・生涯スポーツ

各活動の充実及び総合社会教育文化施設の充実と利用促進をめざします。活動の充実のためには、率先して活動を進める人材が必要です。各団体でのリーダーの育成や人材の発掘を本年度もお願いしていきます。さらに、活動方法や組織の見直しを工夫して、活動が長く持続できることをめざします。また、総合社会教育文化施設については、利用しやすい施設を目指して改修を進めながら、広報活動の工夫や企画展など魅力化に努めるとともに、各施設の方向性を引き続き検討します。

中学校の部活動地域展開について、生涯学習という視点に立ち、その方向性を検討していきます。既存の生涯学習講座や体育協会、文化協会に協力を依頼しながら、子どもたちが生涯にわたって、運動や文化活動に取り組めるような体制づくりを始めます。令和8年度は、3

町村で「北設楽郡中学校部活動地域展開協議会」を立ち上げ、町村の枠を超えた生涯学習の在り方を検討します。

#### 4 文化の保存と継承

後継者育成の支援と文化財の保存・継承環境づくりをめざします。花祭は、それぞれの地区で、伝承に向けて様々な工夫をして、熱心に取り組んでいただいています。花祭だけでなく、盆行事などの民俗文化の保存・継承は、何よりも地域の方にとって切実な願いです。高齢化と人口の減少が根本的な課題ですが、未来の担い手である子どもたちへの働きかけを進める一方で、各地域の代表の方の意見交換の場を引き続き設けるなどして、継承を可能にする方策を探っていきます。

#### 5 多様な学びの場

人権尊重の推進、男女共同参画社会の推進、国際化・国際交流の推進、学力を強化する機会の提供をめざします。

令和6年度から再開した中学生海外派遣事業は、令和8年度も5月21日から27日まで中学生をカナダに派遣する予定です。今後も、グローバルな人材育成をめざし、小学校、中学校の授業を通して使える英語を習得し、進んで外国人と関わろうとする意欲の向上を図ります。そのためにALTの活用法をはじめ授業をさらに工夫するとともに、タブレット端末を活用して会話の力を高める方法を検討します。また、特に中学校では、目的意識を強く持たせるよう努めます。

また、地域みらい塾は令和6年度から「とうえい学びのひろば」と名称を変え、中学生全学年に対象を広げて実施してきました。これからもその形を継続し、自主学習の場の提供と学習の補強をめざします。進路を実現したい、得意な分野の力をいっそう伸ばしたいなど、生徒や保護者の多様な要望に応える方法を模索しながら、基礎的な学力の充実を目指して、学校生活への適応を応援できるよう努めます。

さらに、学校での学習や活動の様子を広く町民に知らせる工夫をしたり、学校の外に学習の場や発表の場を広げたりすることで、町全体で取り組む教育の実現に近づき、子どもにとっては一人の町民としての自覚を育てることをめざします。

## おわりに

学校教育は、どの子どもも等しく幸せになれるように、全ての子どもに主役となる場を与えて、力を伸ばしていく営みです。保育園から中学校卒業までの子ども達の成長について、町民みんなで理解し、同じ気持ちで次の世代の東栄町民を育てるための組織づくりを進めます。また、生涯学習や生涯スポーツ、文化の継承については、町民の皆さんに関心をもっていただき、一人でも多くの方の参加しようとする気持ちを高めたいと考えています。

そのために、子どもにも町民の皆さんにもわかりやすく教育についてお示しし、誰もが役割をもって参加できることをめざしていきます。

# R7 東栄小学校ふるさと学習一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事		入学式・始業式 8 避難訓練22 保護者会18	1年生を迎える会1 体育交流会(5-6年) 22 人権の花20 不審者訓練27 運動会31 公開日 CS子どもに説明7	公開日16 救命講習16 体力テスト 4 畑網設置25 のびのび企画①23	交通安全教室4 水泳記録会15 保護者会、公開日10 終業式18 臨海学習(5年) 22.23	ラジ体操5 出校日22  先生と熟議22	始業式 1 避難訓練(シェイクアウト) 1 人権の花26	公開日15 修学旅行5~7 作品展25~11-4	東栄フェスティバル (太鼓) 3 作品展見学3 マラソン大会、公開日13 のびのび企画②6	学芸会13 終業式23	始業式7 公開日21 入学説明会29 舞台芸術鑑賞(3~6年) 28 薬物乱用防止教室 5・6年27	中学校入学説明会2 スキー教室 (3・4年) 4 学力テスト 公開日17 のびのび企画③9	保護者会、公開日9 6年生を送る会 3 卒業式19 修了式24
1年				まちたんけん10,11 ブルーベリー18 下川たんけん26	きのこの森、千代姫 荘五平餅体験14			草木染8 龍洞院(秋集め) 20	設楽城址(秋集め) 11 秋祭り・白組さんと 交流28			白組さんと交流20	
2年				のき山9	ブルーベリー9			宝文堂20 陶芸デザイン10 陶芸教室21					
3年	栽培 町めぐり	まち探検(社会) 23 ~30		大豆教室10 盆唄、さんさ(音 楽) 18	タイガーサッシュ見 学(社会) 3			旧校舎めぐり 中央2月・中設楽15 東園目・東部20御園・ 足込27奈根29 東栄分署(社会) 6 消防団・防災士(社会) 7 陶芸デザイン9 陶芸教室22	旧校舎めぐり 古戸・小林・粟代 5		とうふ作り20 警察署見学(社会) 27		
4年	福祉	打ち合わせ30		古戸おいでん家訪問 11	福祉の仕事7 高齢者疑似体験10			認知症サポーター養 成講座11 浄水場・下水処理場 見学(社会) 12	グループホーム訪問10 陶芸デザイン10 陶芸教室21 中田クリーンセンター (社会) 17	古戸おいでん家招待 12 ハザードマップ作り 28			志多ら太鼓指導 18
5年	木育		打ち合わせ7					木育教室開講式、山 の話9 糸のこ、からくり人 形25.26	木皿・箸づくり24 御園木育教室28		蒸留体験・チェン ソーアート見学21		木育教室発表、閉講 式17
6年	町巡り		打ち合わせ2	オリエンテーション 5 町めぐり12.16			志多ら太鼓指導 11	志多ら太鼓指導21			まゆ花コサージュ① 29	まゆ花コサージュ② 5	
わくわく				音楽ワークショップ ①20				音楽ワークショップ②17					
きらきら				音楽ワークショップ ①20				音楽ワークショップ②17					

## R7 東栄中学校ふるさと学習一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事	入学式・始業式9 保護者会12 情報モラル教室12 部活動保護会26	避難訓練(地震)2	全校奉仕作業7 救命講習10、23	保護者会2 不審者訓練7 郡中学校体育大会 5.6 終業式18	駅伝講習会21 全校奉仕作業23	始業式1 防災訓練1 体育大会6 駅伝講習会(名倉) 14	駅伝大会7 駅伝東三大会18 明神祭・町文化祭25	中高一貫事業田口高 文化祭1 奥三河シビック醸成 事業(志多ら)18 情報モラル教室19 保護者会27	薬物乱用防止教室3 防災学習19 終業式23	始業式7 1・2年スキー教室22	入学説明会2	予餞会3 卒業式6 保護者会13 修了式24
1年		ふるさと体験(木 育)16 福祉体験23 理科打ち合わせ27		着付け14 フィールドワーク28 ~1	田口高校体験入学5	理科校外学習30	理科博物館見学23 理科岩石採集28	理科名大生講師26 理科加藤博俊さん講 師28				
2年		福祉体験23	108サポート部18	108サポート部1.16 職場体験学習28~1	田口高校体験入学5			認知症サポーター養 成講座17	国内研修10~12 キャリアスクールブ ロジェクト16(遊び 人、蒸留)			
3年		海外派遣事業22~27	福祉体験17	オニスター焼試食3 習字指導7.9		赤ちゃんふれあい事 前学習17 赤ちゃんふれあい体 験18		保育実習10	108サポート部 5.10.19 議会傍聴15 いのちの授業16			
特別支援				音楽ワークショップ ①19			音楽ワークショップ②17				己書16	
その他	いのちのプログラム 打ち合わせ22 部活動について考え よう26	CS生徒に説明19		新城中1ルーム視察 17	先生と熟議18	のびのび企画22	木育打ち合わせ20					

R7 年間スケジュール

	小中学校	とうえいコミュニティスクール（とうえいCS）		教育委員会他	広報誌等（R7）	
		学校運営協議会	地域学校協働本部			
4月	先生への説明 保護者会での説明 4/12-18 ふるさと学習の 計画、活動	①学校運営方針の承認（4/25） <b>熟議1</b> 運営方針について  Let's熟議①（4/26） 部活動について考えよう！ 保護者、体育協会関係者		ア 合同部会（4/30） CS理念の共有・年間計画策定 <b>地域学校協働活動</b>	委員の任命（委嘱） （4/1）  *区長会にて適宜報告	とうえいCSだよりの発行 東栄チャンネル掲載
5月	児童への説明5/7 生徒への説明 5/19				①及びアの報告 （5/19）	広報誌5月号（特集） （R7の概要図）
6月		②熟議2（6/26） 学校の忙しいを考える		*小学校：CSのびのび企画①6/23		広報誌6月号1/2ページ （協議会の学校運営方針等 ・本部年間計画）
7月					②及び活動方向	
8月	中教員8/18 小教員8/22	③熟議3 課題解決に向けて <b>部活動について考えよう！②</b> （合同開催） 8/22		<b>*関係者が集まって、 ・木育活動について 8/20</b>		
9月				*中学校：CSのびのび企画9/22	③及び活動の報告 *総合教育会議	広報誌9月号1/2ページ （1学期の活動から）
10月		④熟議4 問題提起（後藤） 学校と地域の距離を縮めるには 10/30				町民文化祭・作品展 とうえいCSコーナーの設置
11月	評価依頼			*小学校：CSのびのび企画②11/6	④及び活動の報告	
12月		⑤熟議5 問題提起（真柴） 学校と地域・保護者における情報と コミュニケーション不足への改善策 12/16			*区長会に評価・ <b>助成金依頼</b>	
1月	学校評価	*年度末評価		*年度末評価	⑤及び活動の報告	広報誌1月号1/2ページ （2学期の活動から）
2月	次年度方針検討	⑥R7学校運営の評価・検証 R7CS活動の評価 2/26 R8方向性・活動内容		*小学校：CSのびのび企画③2/9 イ 協働活動の評価	*総合教育会議2/18 *事務協2/27	
3月	保護者会での報告 3/9-13	★活動報告・自己評価の公表			⑥の報告	

# 令和8年度

## 場をつくる

「未来を担う子どもたちをみんなで育てる」～ 将来につながる人づくりを！

こどもまんなか社会  
こども大綱



持続可能な地域をつくるには”子ども”  
子どもの未来 地域への投資



子どもは育つ力をもっている。子どもが力を発揮しやすくするために…  
**わたしにできることは？**  
考えよう！ そして行動しよう！

## とうえいコミュニティスクール（とうえいCS） 笑顔と誇り 子どもの育つ力を信じて～

### 学校運営協議会（話し合いの場）

学校、保護者、地域の代表者が集まり、「目指すべき教育ビジョン」を共有します。その学びや成長を支えるため、必要なことや協力できることを話し合います。

大切な2つの機能があります！

- ◎東栄小学校・中学校の学校運営の基本方針を「承認」します。
- ◎CS理念の実現に向け「協議や評価」をします。

### 地域学校協働本部（活動の場）

これまでの地域と学校の連携体制を基盤として、保護者、地域住民、各種団体等がつながり、協力し合って、子どもたちの学びや成長を支えるための、具体的な活動を進めます。

学校から地域へ、3つのステージがあります！

- ◎双方のニーズや願いを共有し、協働活動を進めます。
- ◎関係者が集まって情報を共有し、みんなでつくり上げます。

実際に町に出て、地域と学校が無理なくかわり合うための、きっかけづくりを進めます

それぞれの立場から問題提起して熟議しよう！

保護者として未就学児とかかわって地域では…

\*活動につなげよう！

目的を共有して楽しむ活動を企画しよう！

例えば…

サツマイモを育てて焼き芋会

運動会・体育でCS種目

先生と食事会

熟議



保護者・地域・団体

協働

一体型CS  
熟議と活動をつなげる



後藤

マシヤ

一体的・持続的な取組  
となるよう機能調整

### 地域活動

- ・防災
- ・祭
- ・イベント…

### 放課後活動

- ・のびのび企画
- ・生涯学習講座
- ・未来塾
- ・部活動の地域展開

### 学校教育活動

- ・体験の場
- ・ふるさと学習
- ・東栄町の自然・文化行事・人…

生活者として  
担い手として  
継承者として



松本

地域コーディネーター

CSは社会教育の場  
持続可能なしくみづくり  
自由と選択の場

地域を知る、つながる  
一緒に〇〇する  
一緒に〇〇しあう

一緒に～しませんか。Let's  
よかったら見に来てください。  
\*「東栄チャンネル」で  
事前にお知らせ



地域のみなさん



地域活動協力推進員

私たちもCSの窓口です！

問い合わせ先  
教育委員会 76 - 0509

CSコーディネーター 後藤 理恵  
統括地域活動推進員 一野瀬泰根  
地域コーディネーター 松本 芽依

R8 年間スケジュール

	小中学校	とうえいコミュニティスクール（とうえいCS）		教育委員会他	広報誌等（R8）	
		学校運営協議会	地域学校協働本部			
4月	先生への説明 保護者会での説明 ふるさと学習の 計画、活動	①学校運営方針の承認 熟議1 運営方針について	ア 合同部会 CS理念の共有・年間計画策定 地域学校協働活動	* 区長会にて適宜報告	とうえいCSだよりの発行 東栄チャンネル掲載 <b>事前告知</b> 、活動の様子	
5月	児童生徒への説明		<b>サツマイモつるさし</b>	①及びアの報告	広報誌5月号	
6月		②熟議2 問題提起		* 小学校：CSのびのび企画①	広報誌6月号1/2ページ （協議会の学校運営方針等 ・本部年間計画）	
7月				②及び活動方向		
8月	中教員 小教員	③学習会		木育について考えよう		
9月				* 中学校：CSのびのび企画	広報誌9月号1/2ページ （1学期の活動から）	
10月		④熟議3 問題提起	<b>東栄町文化祭（作品展・芸能祭）</b>		町民文化祭・作品展 とうえいCSコーナーの設置	
11月	評価依頼		<b>サツマイモ収穫 焼き芋会</b>	* 小学校：CSのびのび企画②	④及び活動の報告	
12月		⑤熟議4 問題提起			* 区長会に評価依頼	
1月	学校評価	* 年度末評価		* 年度末評価	⑤及び活動の報告	広報誌1月号1/2ページ （2学期の活動から）
2月	次年度方針検討	⑥R8 学校運営の評価・検証 R8CS活動の評価 R9 方向性・活動内容		* 小学校：CSのびのび企画③ イ 協働活動の評価	* 総合教育会議	
3月	保護者会での報告	★活動報告・自己評価の公表		⑥の報告		

# とうえいCS

【2年目：令和7年度】

## 熟議の場を広げる

- ・部活動について
  - ① 4/26 17名
  - ② 8/28 27名  
→校長会、三町村へ
- ・先生と 中8/18 小8/22  
育つ力を信じて～
- ・木育について8/20 11名  
→年1回継続

## 一体型CSを目指す

- ・地域活動協力推進員  
学校運営協議会メンバーが  
活動にも参加する
- ・合同熟議の開催
- ・学校の要請に応じた活動、  
支援  
中学校からの依頼（職場体  
験、駅伝講習会、クイズ）

## 学校教育活動から広げる

- ・放課後活動としての「のび  
のび企画」 中：9/22  
小：6/23、11/6、2/9
- ・地域活動への協力  
現状把握 チラシの配布  
星空音楽祭でオニスターダンス
- ・とうえい学びのひろばでの  
個への支援



- 複数回熟議を開催した。
- 委員による問題提起型の熟議に移行し、活動案を出し合い行動につなげる方向性がもてた。
- ◇当事者の子ども、保護者、先生と話す機会がもてない



- 委員が活動に参加することで、子どもの様子が分かり熟議も深まった。
- ◇一般での熟議は進め方に課題が残った。
- \*熟議を行動につなげる。
- 中学校からの依頼が増えた



- 「のびのび企画」を始めることができ、子ども、参加してくれた講師の方から好評を得ている。
- ◇地域講師のさらなる発掘
- \*学校、地域とかかわりながら地域おこし協力隊としての方向性を探った。



令和8年度に向けて **場をつくる**

### ○とうえいCS主催で楽しい場をつくる

(例) 焼き芋会 運動会・体育会 CS 種目 先生と夕食会…

### ○ふるさと学習に地域の人に参加できる場をつくる

東栄チャンネル等で事前にお知らせ 「一緒に～しませんか～」

### ○今あるイベントに子ども参加の場をつくる

町民文化祭、芸能祭にプラスワン（地域おこし協力隊）

### ○地域で活動する団体、人とつながる場をつくる（事務局）

(例) おいでん家 文化協会 元気な地域づくり支援事業団体…

※顔の見える関係づくりに努める

※地域学習にかかわる資料・データ等を整理し、持続可能なしくみをつくる

## CSを身近に!

親しみやすいネーミング、マークのデザイン作成



- ・地域講師、サポーターにバッジを配付
- ・行事で団扇を配付など

# 令和7年度 とうえいCSに関する評価結果

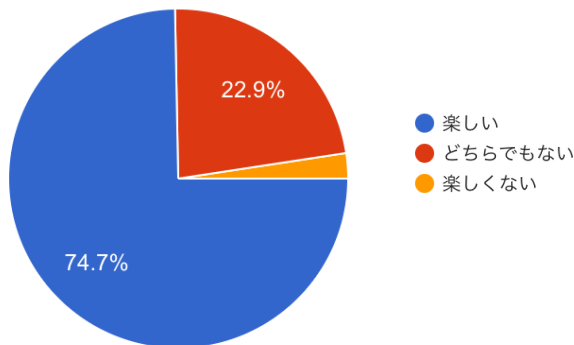
【児童・生徒】

## 1. 学年割合

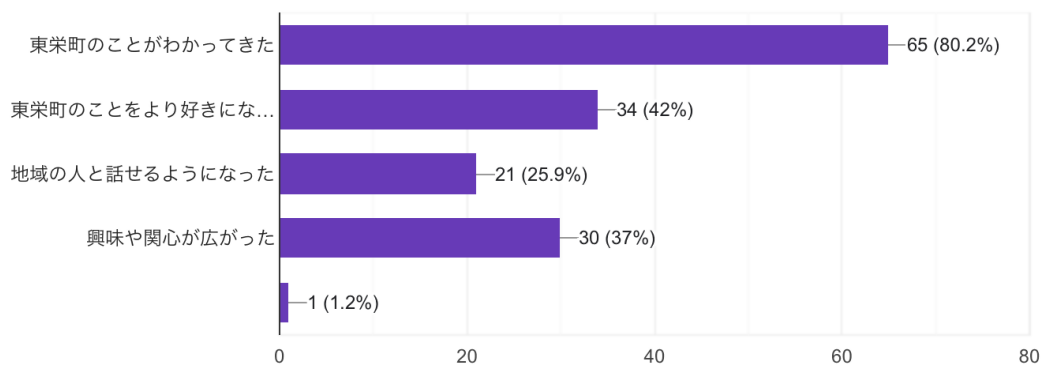


## 2. ふるさと学習（地域の人と一緒に活動する学習）について

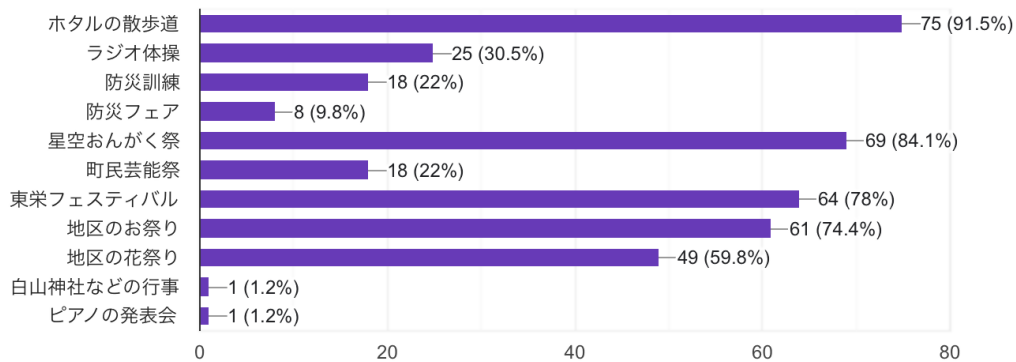
① あなたは、ふるさと学習をどう思いますか。



② 去年と比べて、自分に当てはまると思うものを教えてください。



### 3. 地域でのイベントについて



① 地域の人と話し合ってみたいことがあれば教えてください。

#### ▼小学生

- ・ イベントについて (2件)
- ・ チェンソーアートについて興味が湧いたので、詳しい人に色々聞きたい
- ・ 花祭りのこと (3件)      ・ 東栄の災害対策について
- ・ 昔の東栄町について (3件)      ・ 東栄町をもっとよくするために話したい
- ・ 地区のお祭りについて      ・ ふるさと納税のことや、お店のことなどについて

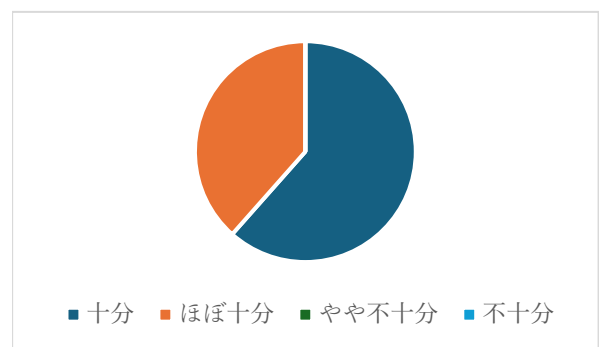
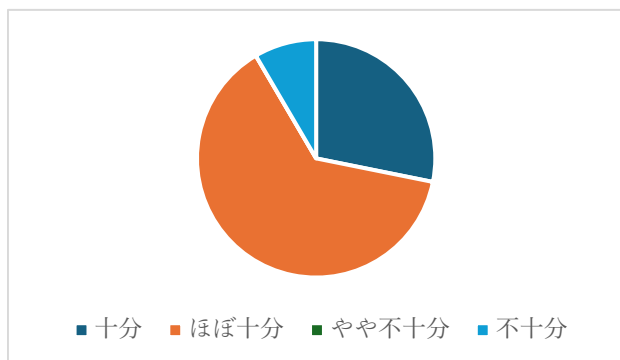
#### ▼中学生

- ・ 東栄町の現状や、東栄町の歴史などをもっと詳しく聞きたい
- ・ 戦争のこと
- ・ 東栄町に長年住んでいる人の体験したことや、移住してきた人は何がきっかけで移住したか

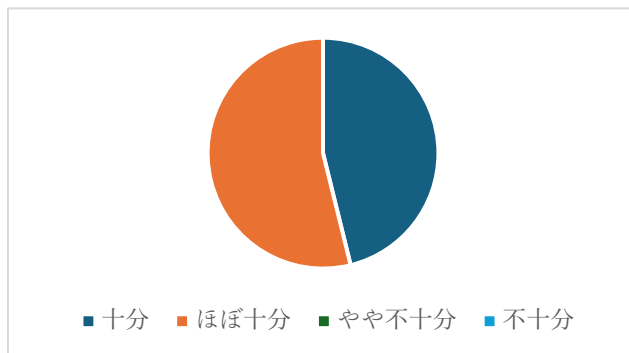
【学校運営協議会 (6名)・地域学校協働本部 (7名)】

1. とうえいCSは、「未来を担う子どもたちをみんなで育てる」ために活動を十分行った。

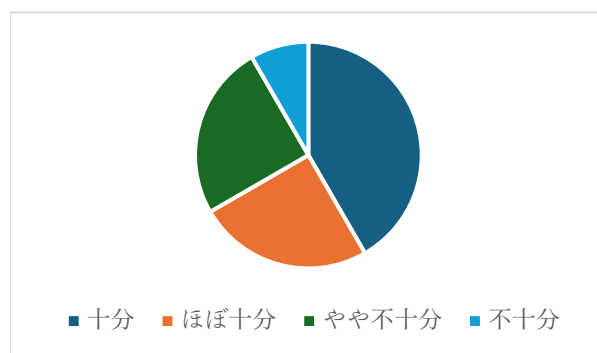
2. とうえいCSは、充実した「ふるさと学習」を実施した。



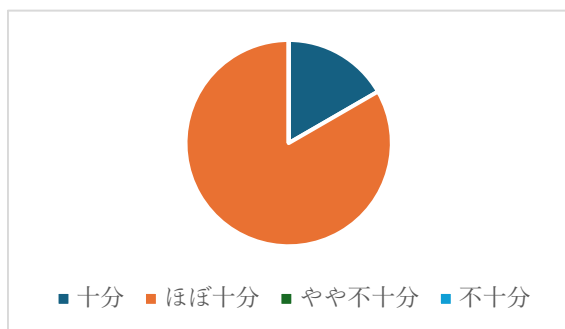
2. とうえいCSは、充実した「放課後活動（のびのび企画）」を実施した。



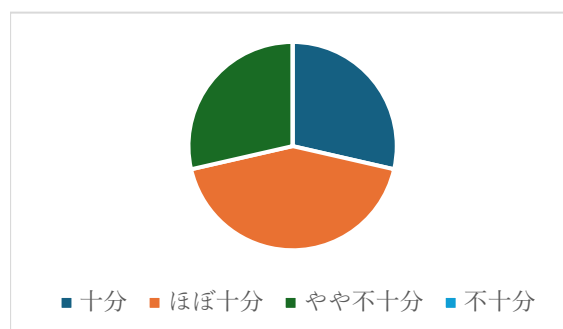
4. とうえいCSは、地域に知らせるための広報活動を十分行った。



☆学校運営協議会は「育てたい子ども像」「目指すべき教育ビジョン」を共有するために、十分熟議を行った。（運営協議会6）



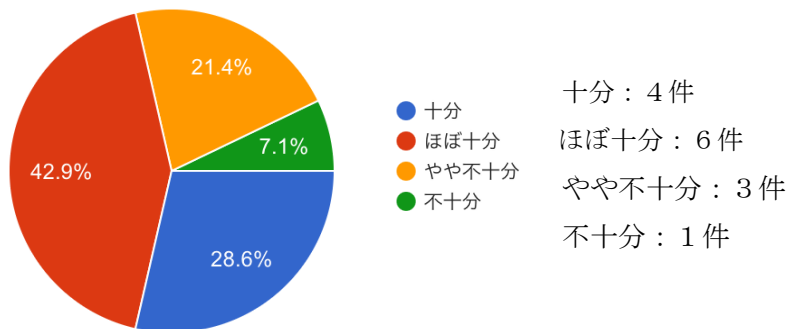
☆自分の思いをもち、積極的に熟議した。（運営協議会6）



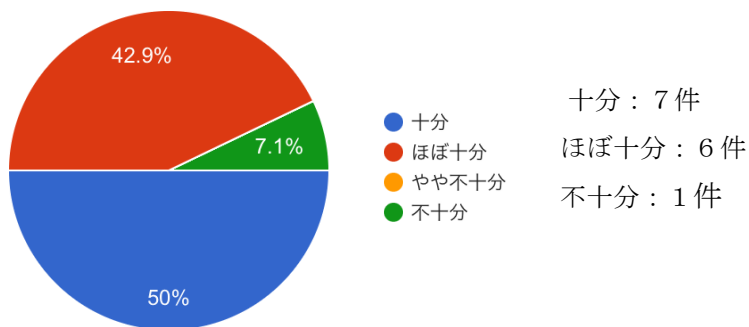
- ・ 良いメンバーに恵まれて大きな成果が得られたと思う。
- ・ 今年、ようやく動き出したと実感した。
- ・ 特に部活動については難しい側面があったが、様々な工夫で取り組んで頂き、ありがたかった。
- ・ 今後部活動をどうしていくのか気になる。どういったゴールを考えているのか。
- ・ 今年、小学生が町内にかつてあった小学校跡を回り、地域の方から説明を受けた活動はとても良かった。改めて地域や地区を見直すきっかけになったと思う。町内でも知らない、行ったことがない、知らずに過ぎてしまう場所や地域があると思う。中学までになるべく色んなところに行って、色んな経験をして、田舎に暮らすということ、なぜ昔と比べて今こうなったのか、などを考える人が育つといいなと思う。
- ・ バス待ち等の学習を見てあげているが、やりすぎのような気もする。
- ・ とうえいCSに参画し、他の期間や町民の活動について、子どもだけでなく大人（私自身）も関心を持ち、より深く考えることができた。ふるさと学習を通じて学んだことを町外の人に向けて、子どもたちが発表できる場があるとよりいいのではないかと思う。
- ・ 子どもがいたり、仕事で学校教育と携わっていれば、のびのび企画等知る機会があるが、それ以外の人だとCSの活動を知る機会が少ないと感じる。どのような手段で広報していくかは考えないといけませんが、CSを知る機会が増えるといいなと思う。

【区長会】（14名）

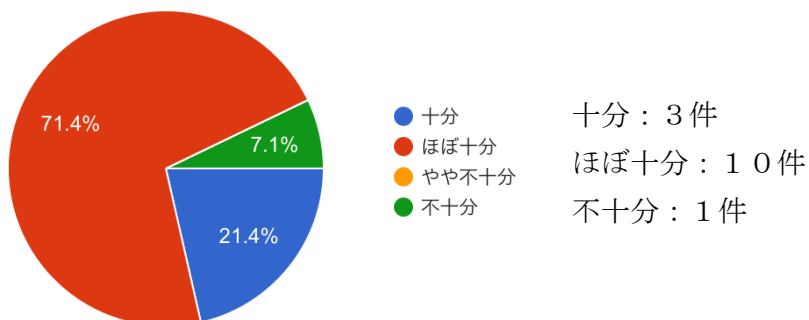
1. とうえいCSとは何か、わかりやすく伝えられている。



2. 学校の子どもたちは、地区の行事に積極的に参加している。



3. 東栄チャンネル、広報東栄、CSだよりなどで、CSの取り組みについて知ることができる。

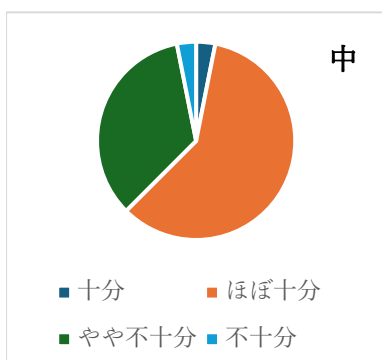
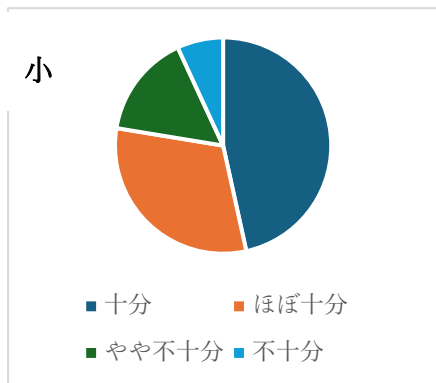


▼その他、感想、提案【中学校を卒業するまでに体験してほしいヒト・モノ・コト】などがあればお書き下さい。

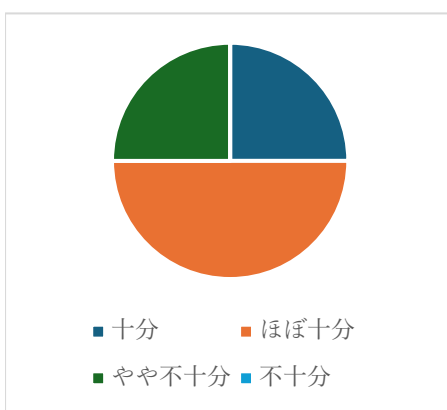
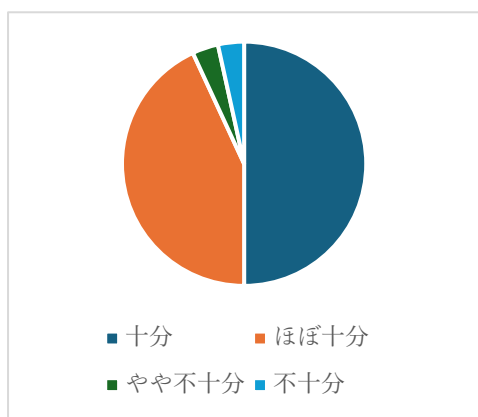
- ・古戸の風穴を体験させてあげてください。
- ・地域の行事に参加すること
- ・地域の人から体験談を聞くこと

【保護者】（小学校 58 中学校 32）

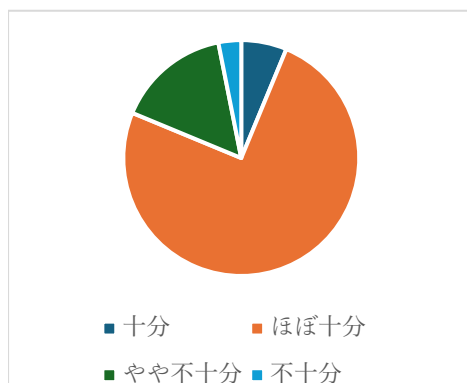
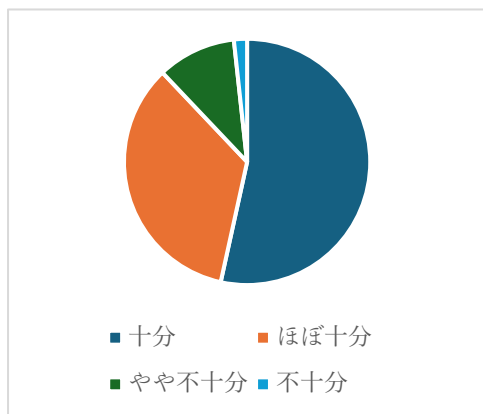
1. あなたは、とうえいCSとは何かを理解している。



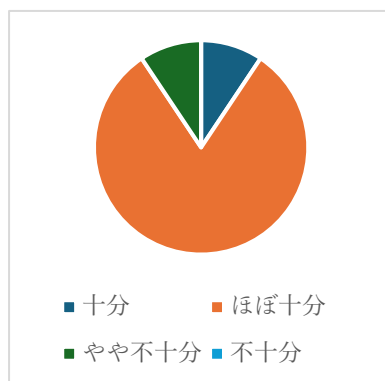
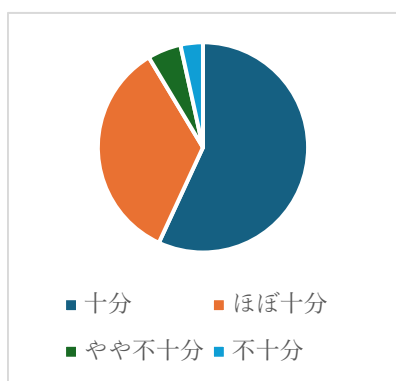
2. あなたは、子どもたちが地域の人とつながり、共に学習・活動するよさ・効果を感じている。



3. 学校・とうえいCSは、地域の人と学習・活動する機会を十分設けている。

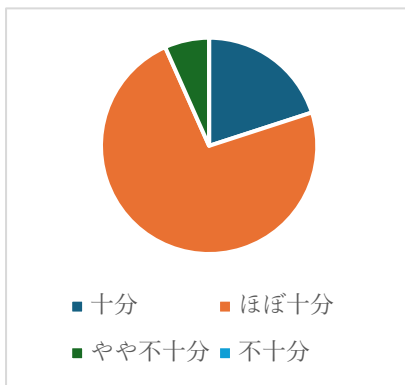
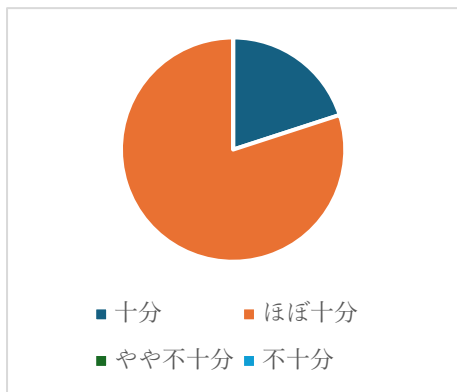


4. 東栄チャンネル、広報東栄、CS だより等で、活動の様子を十分知ることができる。

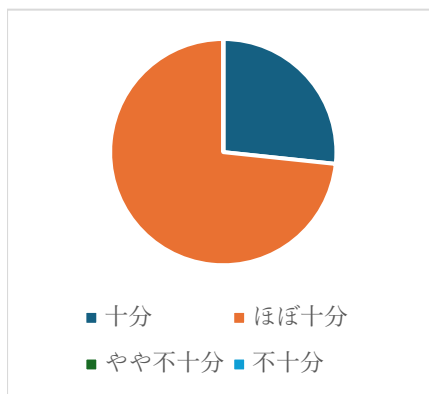
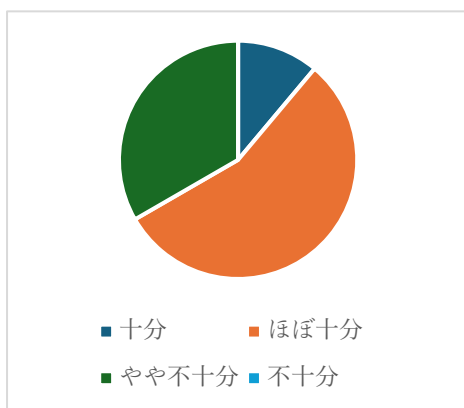


【教職員】（小学校 10 中学校 15）

1. あなたの学校では、CS 導入により、ふるさと学習（地域学習）がより充実した。



2. あなたの学校では、CS 導入、コーディネーター・推進員の加入により、ふるさと学習（地域学習）実施の負担が減少した。



- ・学校運営協議会委員が積極的に熟議し参加し、活動にも手ごたえを感じていることが分かった。
- ・児童生徒は、東栄町についての理解の向上を実感している。さらに興味関心を広げ、子どもの思いを取り入れ地域の人と話す機会を取り入れたい。
- ・昨年度の評価と比較して、全体的に認知度は上がってきているが、子どものいない世帯や地域にどう広げていくかが課題である。
- ・保護者アンケートの結果、活動の多い小学校の方が関心も認知度も高い。
- ・中学校教職員の認知度、成果の実感が昨年度に比較して高まった。
- ・教職員の負担感の減少も、昨年度より高まった。

\*重点的に活動した内容については評価されている。2年目として前進したことを確認できた。

保護者、地域のみなさま

設楽町教育委員会教育長  
東栄町教育委員会教育長  
豊根村教育委員会教育長

中学校の部活動地域展開（移行）について

国（スポーツ庁）では、急激な少子化が進む中でも、将来にわたって子どもたちが継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実するため、部活動の地域展開（地域が主体となる地域クラブ活動への転換）を次のようなスケジュールで進めています。

<国の方針とスケジュール>

R 5～R 7	R 8～R 10	R 11～R 13
改革推進期間	改革実行期間（前期）	改革実行期間（後期）
休日部活動を地域クラブへ段階的移行 / 各地域で準備やモデル事例づくりが進行中	原則、休日部活動を地域で行うことを目指す / 平日の部活動も地域の実情に応じて段階的に移行	中間評価をもとに、さらに平日の地域展開を推進

この方針を受け、北設楽郡においても、これからの部活動のあり方について、教育委員会と学校の代表者による協議を重ねてきました。

○これまでの部活動の成果として

- ・健康な生活を営む上で欠かせない体力の向上や心のたくましさの育成が図られてきた。
- ・異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と教師等との好ましい人間関係の構築に寄与してきた。
- ・学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養にも影響を与えてきた。

○現状から見られる課題として

- ・生徒数減少により活動の継続が困難になったり、単独校での大会参加が難しくなったりしている。
- ・専門的な指導を受けることが難しくなっている。
- ・教職員の負担と超過勤務の問題が依然解消されていない状況である。

これらの成果と課題を踏まえたうえで、子どもたちにとって適切な機会や環境を整えるために、休日の部活動について次のように「地域展開（移行）」に向けた取り組みを進めていきます。

**北設楽郡における今後の運営と指導について**

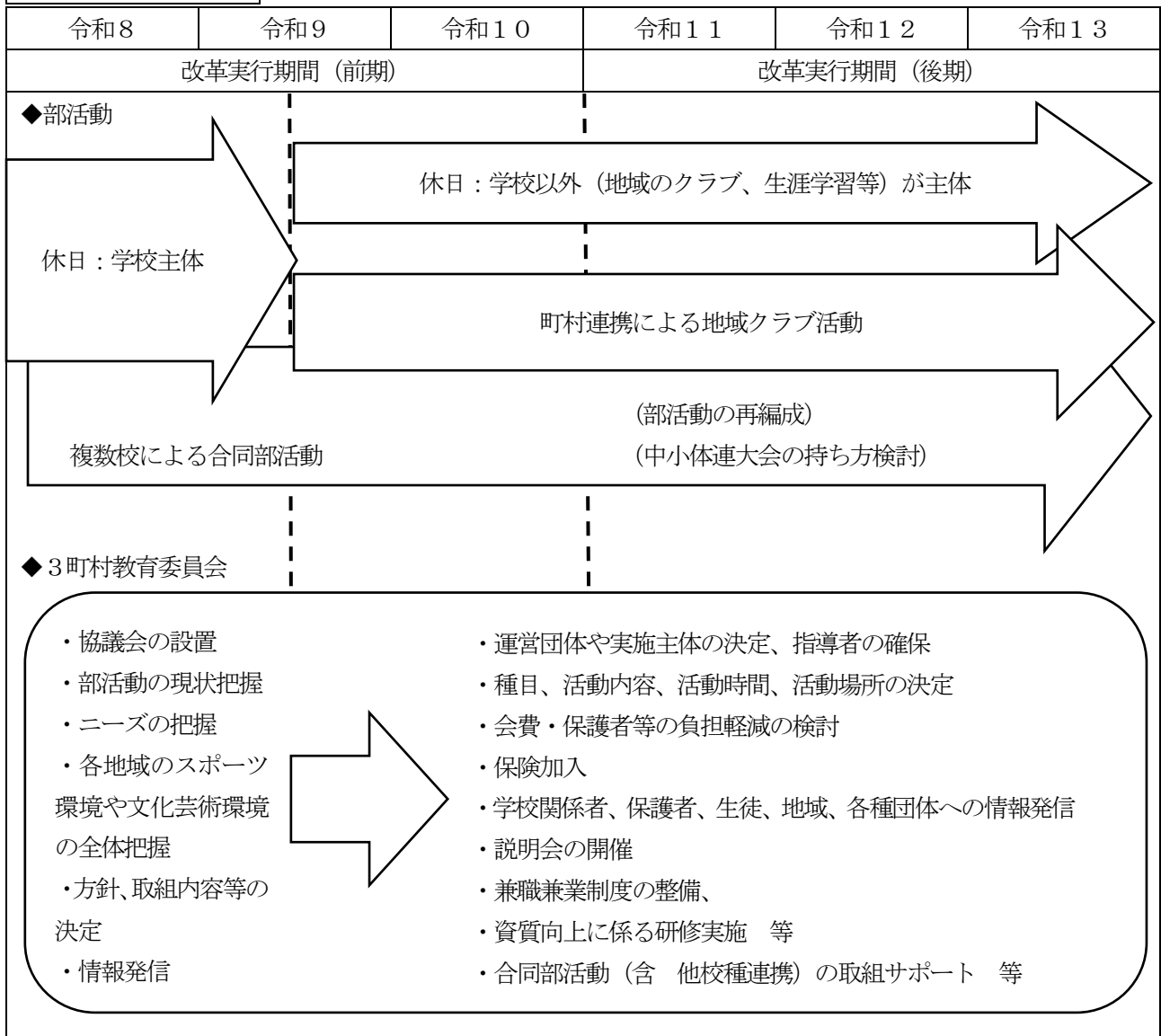
★各中学校の取組

- ①平日の部活動は「週3日以内」「1回2時間以内」とします。
- ②令和9年9月より、休日の部活動は学校の管理下では行わないこととします。ただし、体力及び競技力のさらなる向上が必要な場合は、中小体連主催の大会に限り、大会1か月前を原則に休日の練習を学校ごとで計画し公表します。
- ③移行期（令和8から10年度）においては、連盟・協会等が主催する大会参加の手続きや関係団体との連絡方法について、クラブや関係者への情報提供に努めます。

★各町村教育委員会の取組

- ④中学校と協力して、地域での活動を進めるクラブや団体といった「受け皿」を整えます。
- ⑤令和8年度中に「北設楽郡部活動地域展開推進協議会（仮）」を創設します。学校部活動の整備と町村間の連携に向けた協議・準備を進めていきます。
- ⑥各町村には、各種種目・活動を行う団体があります（別表）。また登録されていない団体もあります。児童生徒はもちろん、住民がこれらのスポーツや文化活動にこれまで以上に親しむことができるように整備・連携を進めます。また、町村を越えて活動に参加できるような環境づくりも検討します。

今後の地域展開イメージ



(別表) 各町村のスポーツ団体・文化団体等一覧（令和8年1月1日現在）

町村名	種目等	所属
設楽町	ゲートボール、卓球、弓道、インディアカ、バレーボール、野球、ソフトテニス、剣道、サッカー	体育協会
	陶芸、写真、短歌、詩吟、太極拳、オカリナ、コーラス、介護予防、大正琴、社交ダンス、朗読・読み聞かせ	文化協会
東栄町	ソフトテニス、弓道、卓球、バレーボール、ゲートボール、野球、バドミントン、ゴルフ、太極拳、空手、サッカー、ランニング	体育協会
	茶道、読み聞かせ・ふれあい遊び、文化作品制作、写真、短歌、琴・三絃、己書	文化協会
豊根村	弓道、卓球、スキー、ランニング、ゲートボール、バレーボール、ゴルフ	体育協会 (野外スポーツ活動)
	陶芸、習字、太鼓、吹奏楽、よさこい	文化協会

東栄町立学校の教育職員に関する  
業務量管理・健康確保措置実施計画

令和8年3月

東栄町教育委員会

## 目 次

1. 計画の趣旨・現状	1
2. 目標	1
3. 計画の期間	2
4. 実施する業務量管理・健康確保措置の内容	2
5. 関連する取り組み、今後のフォローアップについて	3

## 1. 計画の趣旨、現状

### (1) 計画の趣旨

東栄町で働く教職員の時間外在校等時間、教育職員のワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標を定め、教育職員の業務量・健康確保の適切な管理を行うもの。

### (2) 東栄町の現状

- ・東栄町では、学校の教育職員の在校等時間の上限を定める方針として、令和3年度から「東栄町立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する方針」を定め、教育職員の在校等時間の管理及びその時間の縮減に取り組んできた。
- ・こうした取り組みの結果、教育職員の時間外在校等時間の状況について、令和6年度は次のとおりであった。

#### 【令和6年度の時間外在校等時間の状況】

	年平均	月45時間を上回る割合	月80時間を上回る割合
小学校	月40.2時間	30.4%	7.7%
中学校	月43.2時間	49.4%	3.9%

- ・時間外在校等時間が45時間を超える割合が小学校で35%以上、中学校で50%以上と多くなっている。特に中学校では、日ごろの教材研究に加え、部活動の指導等の業務の負担が大きくなっており、部活動の休養日の完全実施、運用方法の改善等を図ることによって、教育の質の向上のために必要な時間的余裕を創出することが必要である。

こうしたことを踏まえ、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法第8条に基づき計画を策定するものである。

## 2. 目標

### (1) 時間外在校等時間に関する目標

- ・1ヶ月時間外在校等時間が45時間以下の割合を100%にする。
- ・1年間における1ヶ月時間外在校等時間の平均時間を30時間程度にする。

### (2) ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標

(【 】内は令和6年度の数値)

- ・年間の年次有給休暇の年間取得日数を10日以上、平均取得日数を15日以上にする。

【10日未満：5人 年平均：15日】

- ・ストレスチェックにおける高ストレス者の割合を3%まで減少させる。

【9.5%】

### 3. 計画の期間

令和8年度～令和11年度

### 4. 実施する業務量管理・健康確保措置の内容

(1) 「業務の3分類」を踏まえた業務の見直し

ア 学校以外が担うべき業務

○登下校時の通学路における日常的な見守り活動等

- ・各地域の実情を踏まえつつ、児童生徒が学校に登校する時間の見直しを推進する。また、保護者・地域住民による通学路の見守り活動を推進する。

○放課後から夜間などにおける校外の見回り、児童生徒が補導された時の対応

- ・放課後から夜間の見回りについては、警察や地域住民が行っている見守りに委ねることとし、学校における自主的な見守りは原則行わないこととする。
- ・補導された児童生徒の引き取りについては、保護者が第一義的な責任を負うことについて認識を共有する。

イ 教師以外が積極的に参画すべき業務

○調査・統計等への回答

- ・調査内容、回答方法などを精査し、学校の事務負担を軽減する。

○部活動

- ・令和9年度中に、原則、休日の全ての部活動の地域展開を実現する。平日の部活動については、活動時間の適正化を図り、部活動指導員の配置拡充等を進める。

ウ 教師の業務だが、負担軽減を促進すべき業務

○授業準備、学習評価や成績処理

- ・授業準備や採点作業等を補助する、学習支援員・スクールサポートスタッフを全校に配置する。
- ・ICT等の活用により、授業準備、採点作業や成績処理等にかかる事務負担を

軽減する。

○支援が必要な児童生徒・家庭への対応

- ・スクールカウンセラー等の専門的な知見を活用しつつ、教職員が連携・協働した支援体制を構築する。

(2) 学校における措置の推進

**学校における以下の措置を推進することで、教育職員が担う業務の適正化を図る。**

- ・各学校の教育課程における年間総授業時数や週当たり授業時数については、年度当初の計画段階で真に必要な時数となるよう設定する。特に、標準授業時数を大幅に上回って（小4以上は年間で1,086単位時間以上）編成されている場合には、指導体制に見合うものとなるよう見直す。
- ・当初のねらいが形骸化し十分な効果が見込めない活動等の見直し、清掃時間・頻度の見直し、放課後の活動時間の勤務時間内での設定など、日課表の工夫を行う。

(3) 教育職員の健康及び福祉の確保に関する取組

**教育職員の健康及び福祉を確保するため、労働安全衛生法等の規定を遵守するとともに、次の内容に取り組む。**

- ・1ヶ月時間外在校等時間が80時間を超えた教育職員に医師による面接指導を実施する。
- ・11時間を目安とする勤務間インターバルの確保に取り組む。
- ・心身の健康問題についての相談窓口を設置する。
- ・ストレスチェックの実施率を100%にし、実施後の集団分析の結果等も活用して職場改善を図る。
- ・年次有給休暇についてまとまった日数を連続して取得できるよう、各学校に対して取得を促進する。

## 5. 関連する取組、今後のフォローアップについて

- ・取組の着実な実行を図るため、各学校の教育職員の在校等時間の状況を把握し、毎

年度、定例の教育委員会及び総合教育会議において報告することとする。

- ・学校での児童生徒等の支援に当たる医療・福祉に関する人材の確保に当たり、関係部局・関係機関とともに取り組む。
- ・時間外在校等時間にかかる目標の達成状況については、カード式出退勤管理システムで把握し、その他の目標については、専門機関に委託するストレスチェックの結果から把握する。
- ・教育委員会において、各学校の状況を確認し、本計画の内容に照らして課題が見られるときは、当該学校に聞き取り・指導等を実施する。特に、時間外在校等時間が長時間となっている教育職員がいる学校や、業務の持ち帰りや休憩時間の確保が課題となっている学校に対しては、当該年度中にも速やかに状況が改善されることを目指し、当該学校に対する個別の支援・指導を実施する。
- ・各学校における働き方改革の取組が進むよう、様々な機会を捉え各学校へ本計画の周知を行うとともに、管理職向けにマネジメント等に関する研修を充実させるなど、教育委員会からの支援を強化する。各学校においては、校長をはじめとした管理職のリーダーシップのもと、学校運営協議会における協議等も踏まえつつ、本計画に基づき、教職員の働き方改革に向けた取組を実施する。
- ・保護者、地域の理解を促進するため、首長部局と連携し、保護者や地域の各自治体等に対して、「業務の3分類」をはじめとする業務量管理・健康確保措置の内容について周知を行うとともに、具体の項目について協力を得られるように取り組む。